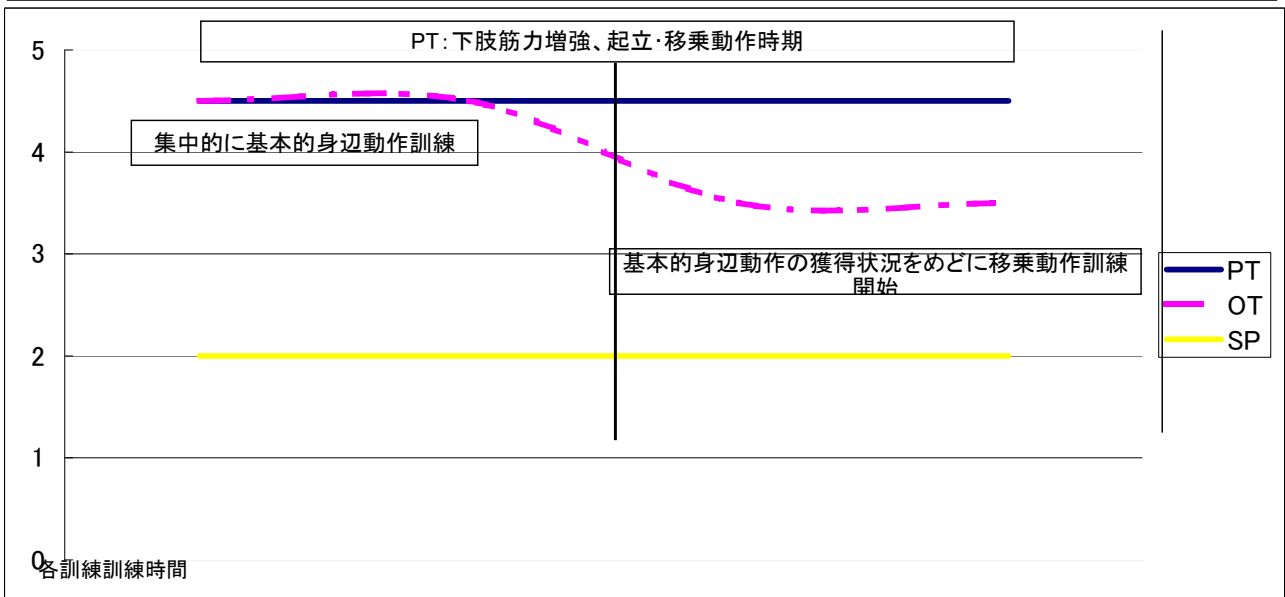


### C5不全と診断された方の中、ご自分で立つことの出来ない方

診断(ASIA)	C5不全	Zaccolliの分類	-
		フランケルの分類	C
到達目標	F	最大限条件設定をしても、かなりの介護量が必要。むしろ介護者の合わせた環境設定も多く取り入れる必要があります。	
獲得可能動作	食事:	自助具を使用して可能となります。	
	車いす操作:	屋内平坦路では自操可能ですが、4度程度のスロープを登る事は困難です。屋外では、電動車いすが必要になります。	
	整容:	寄り付きの良い洗面台で自助具を使用して洗面や歯磨き動作が可能となります。	
	更衣:	手袋を改良して着脱が可能となります。上着はかぶりの大き目のもので一部動作獲得可能性があります。	
	ベッドへの移乗:	残存する下肢の筋力を利用しますが自立は困難です。	
	排尿:	自己導尿の手技が可能となります。また、尿捨て動作が可能となります。	
	排便・入浴	全介助となります。	
	自動車関連動作:	自動車への乗り込み、車いすの積み込み及び運転は困難です。	
	起立:	臀部と膝を固定して立位保持が出来るようになります。わずかながら動く下肢の力を利用して移乗時の介護量の軽減を図る訓練を行います。自立は困難です。	
歩行:	困難です。		

\* 不全損傷の方の中には、肩の痛みやこわばりが強い方がいます。このような場合、更衣や整容などの動作獲得の阻害因子となります。

#### 利用契約から終了までの訓練進捗状況に応じた一週間の標準的な訓練時間



利用契約開始

訓練終了

※これらの時間や獲得動作は、目安であり、実際の時間や獲得動作には個人差があります。